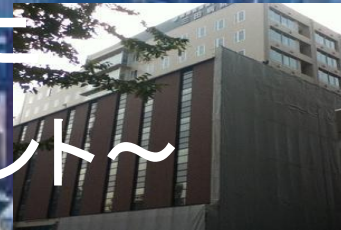


2018年診療報酬改定 ～糖尿病診療における改定のポイント～



国際医療福祉大学大学院 教授
武藤正樹

目次

- パート 1
 - 2018年診療報酬の改定率と基本方針
- パート 2
 - かかりつけ医と糖尿病診療
- パート 3
 - 生活習慣病重症化予防と糖尿病診療
- パート 4
 - 地域連携パスと糖尿病

パート1 2018年診療報酬改定率と 基本方針



中医協総会

診療報酬改定について

12月18日の予算大臣折衝を踏まえ、平成30年度の診療報酬改定は、以下のとおりとなった。

1. 診療報酬本体 +0.55%

600億円

各科改定率	医科	+0.63%
	歯科	+0.69%
	調剤	+0.19%

2. 薬価等

▲ 1.74%

1700億円

① 薬価

▲ 1.65%

※ うち、実勢価等改定 ▲1.36%、
薬価制度の抜本改革 ▲0.29%

② 材料価格

▲ 0.09%

ネット
1.19%
マイナス

なお、上記のほか、いわゆる大型門前薬局に対する評価の適正化の措置を講ずる。

平成30年度診療報酬改定の概要－医科

I 地域包括ケアシステムの構築と 医療機能の分化・強化、連携の推進

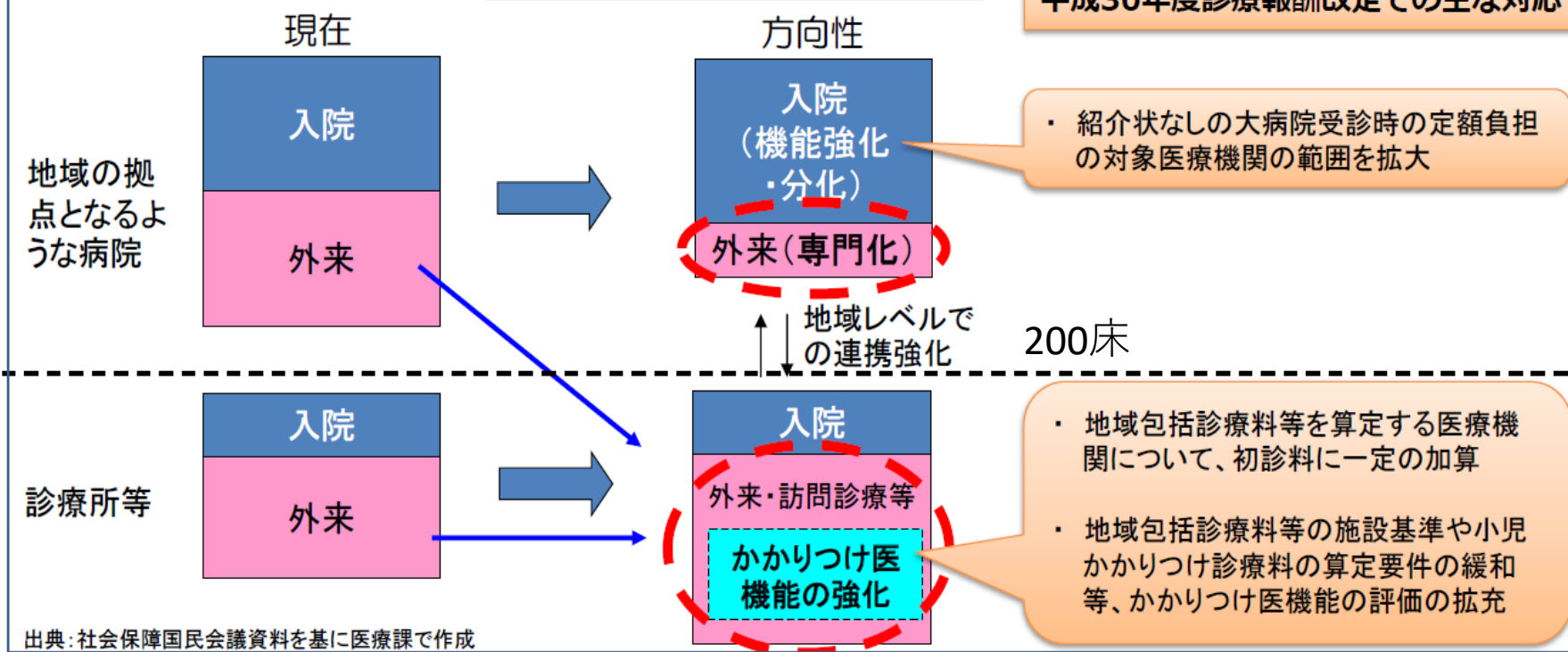
1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

外来医療の今後の方向性(イメージ)

社会保障制度改革国民会議報告書(H25年8月6日)抜粋

- 新しい提供体制は、利用者である患者が大病院、重装備病院への選好を今の形で続けたままでは機能しない
- フリーアクセスの基本は守りつつ、限りある医療資源を効率的に活用するという医療提供体制改革に即した観点からは、医療機関間の適切な役割分担を図るため、「緩やかなゲートキーパー機能」の導入は必要
- 大病院の外来は紹介患者を中心とし、一般的な外来受診は「かかりつけ医」に相談することを基本とするシステムの普及、定着は必須
- 医療の提供を受ける患者の側に、大病院にすぐに行かなくとも、気軽に相談できるという安心感を与える医療体制の方が望ましい

外来医療の役割分担のイメージ

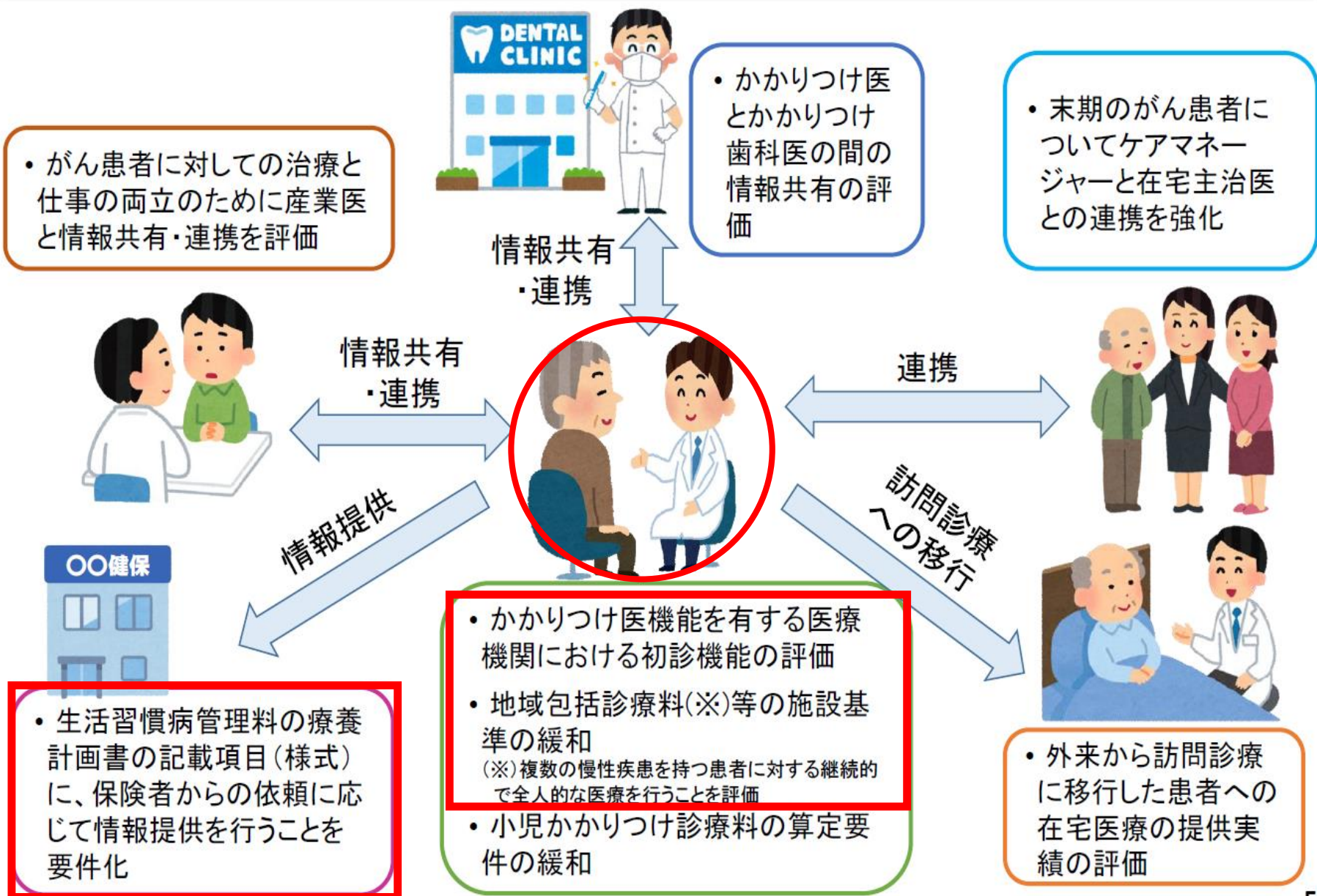


パート2

かかりつけ医と糖尿病診療



かかりつけ医機能評価の充実



かかりつけ医機能の評価

「地域包括診療料」

- 2014年度の診療報酬改定で創設された「かかりつけ医機能の評価する外来の包括報酬」
 - 高血圧症、**糖尿病**、脂質異常症、認知症のうち2つ以上の疾患を有する患者に対し・・・
 - 「患者が受診するすべての医療機関を把握する」
 - 「患者が服用するすべての薬剤を把握する」
 - 「在宅医療を提供する」などの要件（施設基準）
- **200床未満の病院・診療所**
 - 生活習慣病患者や認知症患者に総合的な医学管理を行うことを評価する包括診療報酬
 - 届け出は**2027年11月時点**で**227**医療機関

かかりつけ医の初診料に「機能強化加算（80点）」が上乘せ！

- 「機能強化加算（80点）」
 - 「機能強化加算」は、専門医療機関への受診の要否の判断を含めた初診時における医療機能を評価する点数で、「かかりつけ医機能」の初診料に80点の加算がされる。
 - これまでの初診料は282点が362点に、2割以上アップする！

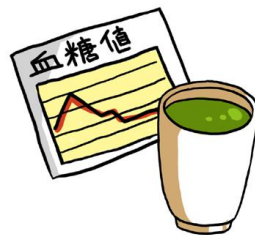
パート 3

生活習慣病重症化予防と 糖尿病診療



糖尿病重症化予防の 3つのポイント

- ポイント① 外来医学管理と目標設定
- ポイント② 糖尿病性腎症の重症化予防
- ポイント③ 糖尿病重症化予防と保険者との協同



ポイント①

外来医学管理と目標設定



生活習慣病の指導管理に係る主な診療報酬の例

生活習慣病に係る計画の策定と治療管理に係る評価

生活習慣病管理料

- 1 保険薬局において調剤を受けるために処方せんを交付する場合
イ 脂質異常症を主病とする場合 650点 ロ 高血圧症を主病とする場合 700点
ハ 糖尿病を主病とする場合 800点
- 2 1以外の場合
イ 脂質異常症を主病とする場合 1,175点 ロ 高血圧症を主病とする場合 1,035点
ハ 糖尿病を主病とする場合 1,280点

[主な算定要件]

- 治療計画を策定し、当該治療計画に基づき、服薬、運動、休養、栄養、喫煙、家庭での体重や血圧の計測、飲酒及びその他療養を行うに当たっての問題点等の生活習慣に関する総合的な治療管理を行った場合に、許可病床数が200床未満の病院及び診療所である保険医療機関において算定する。
- 服薬、運動、休養、栄養、喫煙及び飲酒等の生活習慣に関する総合的な治療管理を行う旨、患者に対して療養計画書により丁寧に説明を行い、患者の同意を得るとともに、当該計画書に患者の署名を受けた場合に算定できる。

[主な施設基準]

- 保険医療機関の屋内における禁煙の取扱いについて基準を満たしていること。

生活習慣病管理料における療養計画書①

- 生活習慣病管理料における療養計画書において、血液検査値のうち、血糖値(HbA1c)には目標を記載する欄があるが、血压については目標の欄がない。また、特定健診・特定保健指導の受診勧奨等に関する情報の欄がない。

生活習慣病 療養計画書 初回用

(記入日: 年 月 日)

患者氏名: (男・女)	主病:
生年月日: 明・大・昭・平 年 月 日生 (才)	<input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 高血圧症 <input type="checkbox"/> 脂質異常症
ねらい:検査結果を理解できること・自分の生活上の問題点を抽出し、目標を設定できること	
【検査項目】 <input type="checkbox"/> 身長 () cm <input type="checkbox"/> 体重:現在() kg →目標() kg <input type="checkbox"/> BMI () <input type="checkbox"/> 腹囲:現在() cm →目標() cm <input type="checkbox"/> 栄養状態 (低栄養状態の恐れ 良好 肥満) <input type="checkbox"/> 収縮期/拡張期血圧(/ mmHg) <input type="checkbox"/> 運動負荷心電図 <input type="checkbox"/> その他 ()	【血液検査項目】 (採血日 月 日) <input type="checkbox"/> 血糖(<input type="checkbox"/> 空腹時 <input type="checkbox"/> 随時 <input type="checkbox"/> 食後()時間) () mg/dl <input type="checkbox"/> HbA1c:現在 (%) →目標(%) (red line) <input type="checkbox"/> 総コレステロール () mg/dl <input type="checkbox"/> 中性脂肪 () mg/dl <input type="checkbox"/> HDLコレステロール () mg/dl <input type="checkbox"/> LDLコレステロール () mg/dl <input type="checkbox"/> その他 ()
【問診】 <input type="checkbox"/> 食事の状況 <input type="checkbox"/> 運動の状況 <input type="checkbox"/> たばこ <input type="checkbox"/> その他の生活	
【①達成目標】: 患者と相談した目標 ()	
【②行動目標】: 患者と相談した目標 ()	
	医師氏名 (印)

生活習慣病管理料における療養計画書②

【重点を置く領域と指導項目】	□食事	<input type="checkbox"/> 食事摂取量を適正にする <input type="checkbox"/> 野菜・きのこ・海藻など食物繊維の摂取を増やす <input type="checkbox"/> 油を使った料理(揚げ物や炒め物等)の摂取を減らす <input type="checkbox"/> 節酒: [減らす(種類・量:)を週(回)] <input type="checkbox"/> 間食: [減らす(種類・量:)を週(回)] <input type="checkbox"/> 食べ方: (ゆっくり食べる・その他()) <input type="checkbox"/> 食事時間: 朝食、昼食、夕食を規則正しくとる	<input type="checkbox"/> 食塩・調味料を控える <input type="checkbox"/> 外食の際の注意事項() <input type="checkbox"/> その他() 担当者の氏名 (印)
	□運動	<input type="checkbox"/> 運動処方: 種類(ウォーキング・) 時間(30分以上・), 頻度(ほぼ毎日・週(日)) 強度(息がはずむが会話が可能な強さ or 脈拍(拍/分 or)) <input type="checkbox"/> 日常生活の活動量増加(例:1日1万歩・) <input type="checkbox"/> 運動時の注意事項など()	担当者の氏名 (印)
	□たばこ	<input type="checkbox"/> 非喫煙者である <input type="checkbox"/> 禁煙・節煙の有効性 <input type="checkbox"/> 禁煙の実施方法等	担当者の氏名 (印)
	□その他	<input type="checkbox"/> 仕事 <input type="checkbox"/> 余暇 <input type="checkbox"/> 睡眠の確保(質・量) <input type="checkbox"/> 減量 <input type="checkbox"/> 家庭での計測(歩数、体重、血圧、腹囲等) <input type="checkbox"/> その他()	担当者の氏名 (印)
【服薬指導】		<input type="checkbox"/> 処方なし <input type="checkbox"/> 薬の説明	担当者の氏名 (印)
【療養を行うにあたっての問題点】			
【他の施設の利用状況について】			
※実施項目は、□にチェック、()内には具体的に記入 ※担当者が同一の場合、すべての欄に署名する必要はない。		患者署名	
		医師氏名 (印)	

生活習慣病管理料の 療養計画に目標管理を！



Manegemet by Objective(MBO)

ポイント②

糖尿病性腎症の重症化予防



平成28年度診療報酬改定(重症化予防の取組の推進)

進行した糖尿病性腎症に対する運動指導の評価

- 糖尿病性腎症の患者が重症化し、透析導入となることを防ぐため、進行した糖尿病性腎症の患者に対する質の高い運動指導を評価する。

糖尿病透析予防指導管理料

腎不全期患者指導加算 100点

[算定要件]

腎不全期 (eGFR (ml/分/1.73m²) が 30未満) の患者に対し、専任の医師が、当該患者が腎機能を維持する観点から必要と考えられる運動について、その種類、頻度、強度、時間、留意すべき点等について指導し、また既に運動を開始している患者についてはその状況を確認し、必要に応じてさらなる指導を行った場合に、腎不全期患者指導加算として100点を所定点数に加算する。

[施設基準]

次に掲げる②の①に対する割合が5割を超えていること。

- ① 4月前までの3か月間に糖尿病透析予防指導管理料を算定した患者で、同期間内に測定したeGFR_{Cr}又はeGFR_{Cys} (ml/分/1.73m²) が30未満であったもの(死亡したもの、透析を導入したもの、腎臓移植を受けたものを除き6人以上の場合に限る。)
- ② ①の算定時点(複数ある場合は最も早いもの。以下同じ。)から3月以上経過した時点で以下のいずれかに該当している患者。
 - ア) 血清クレアチニン又はシスタチンCが①の算定時点から不変又は低下している。
 - イ) 尿たんぱく排泄量が①の算定時点から20%以上低下している。
 - ウ) ①でeGFR_{Cr}又はeGFR_{Cys}を測定した時点から前後3月時点のeGFR_{Cr}又はeGFR_{Cys}を比較し、その1月あたりの低下が30%以上軽減している。

[算定回数] (平成28年度社会医療診療行為別統計)

腎不全期患者指導加算 69回/月 (糖尿病透析予防指導管理料の算定回数: 9711回 /月)

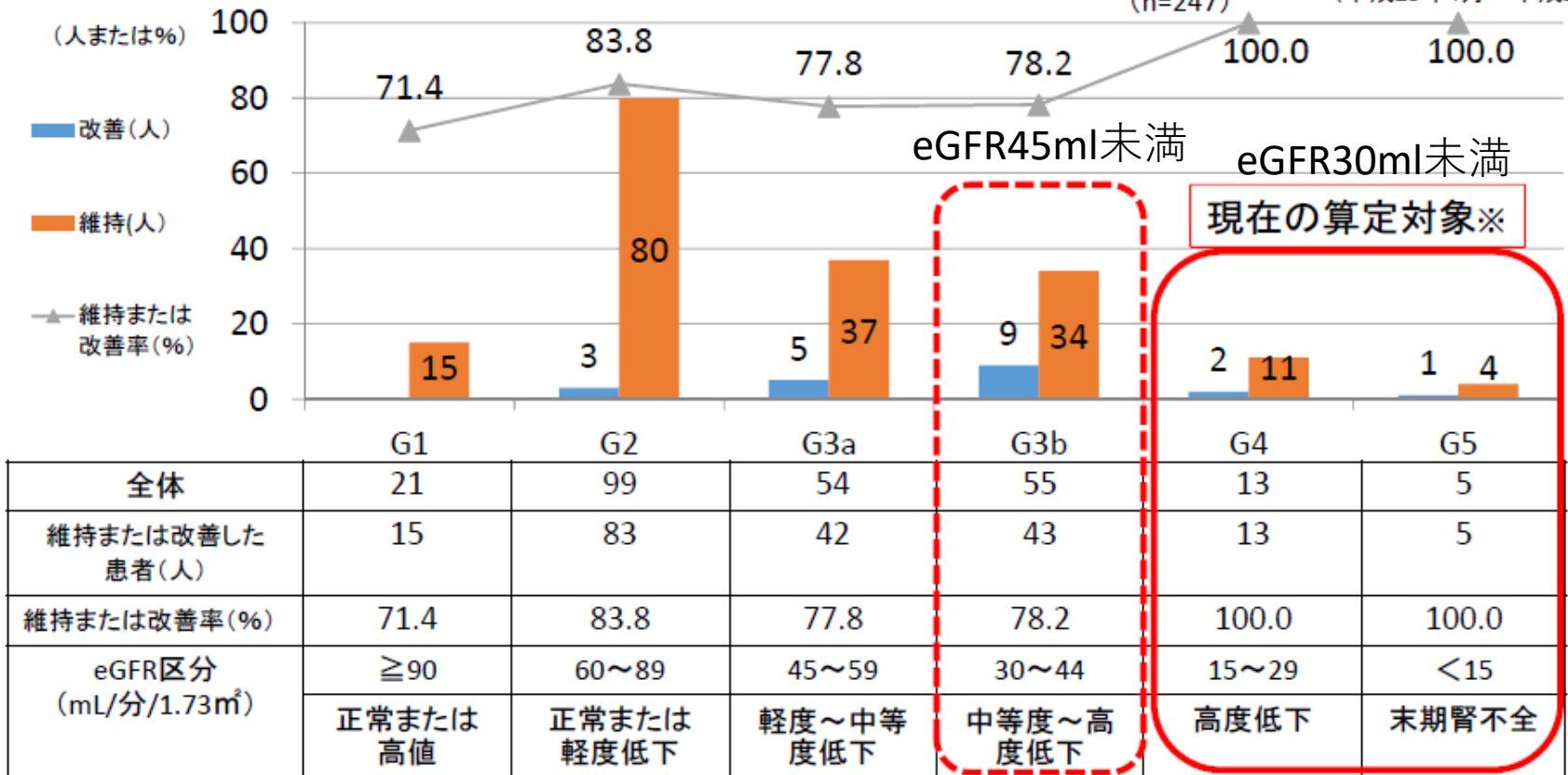
[届出施設数] (平成28年7月時点保険局医療課調べ)

腎不全期患者指導加算 66施設 (糖尿病透析予防指導管理料の届出施設数: 1514施設)

糖尿病性腎症に対する運動療法の効果

- eGFR (mL/分/1.73m²) の区分がG3以下(30以上)の患者においても、運動療法によって、高い割合でCKDステージが維持または改善されているとの報告がある。
- 現行の腎不全期患者指導加算の対象は、eGFRが30未満(G4以上)となっており、eGFRが30～44(G3b)の患者は含まれていない。

運動指導によりCKDステージが維持または改善した糖尿病患者の割合 出典:長浜赤十字病院における調査 (平成25年4月～平成26年6月)
(n=247)



透析予防指導管理の対象拡大、質の高い人工腎臓等の評価の充実

- 糖尿病透析予防指導管理料の腎不全期患者指導加算について、対象患者を拡大するとともに名称の見直しを行う。

現行	
【糖尿病透析予防指導管理料】	
腎不全期患者指導加算	100点

[算定要件]

腎不全期(eGFRが30mL/min/1.73m²未満)の患者に対して医師が必要な指導を行った場合



改定後	
【糖尿病透析予防指導管理料】	
(改)高度腎機能障害患者指導加算	100点

[算定要件]

eGFRが45mL/min/1.73m²未満の患者に対して医師が必要な指導を行った場合

- 夜間、休日に行われる人工腎臓や質の高い人工腎臓の評価を充実させる。

- ① 夜間、休日に人工腎臓を行った場合の評価を充実させる。

現行	
【人工腎臓】	
時間外・休日加算	300点

[算定できる場合]

入院中の患者以外の患者に対して、午後5時以降に開始した場合若しくは午後9時以降に終了した場合又は休日に行った場合



改定後	
【人工腎臓】	
(改)時間外・休日加算	380点

- ② 著しく人工腎臓が困難な患者等に対して行った場合の評価を充実させる。

現行	
【人工腎臓】	
障害者等加算	120点



改定後	
【人工腎臓】	
(改)障害者等加算	140点

- ③ 長時間の人工腎臓に対する評価を新設する。

(新) 長時間加算 150点 (1回につき)

[算定要件]

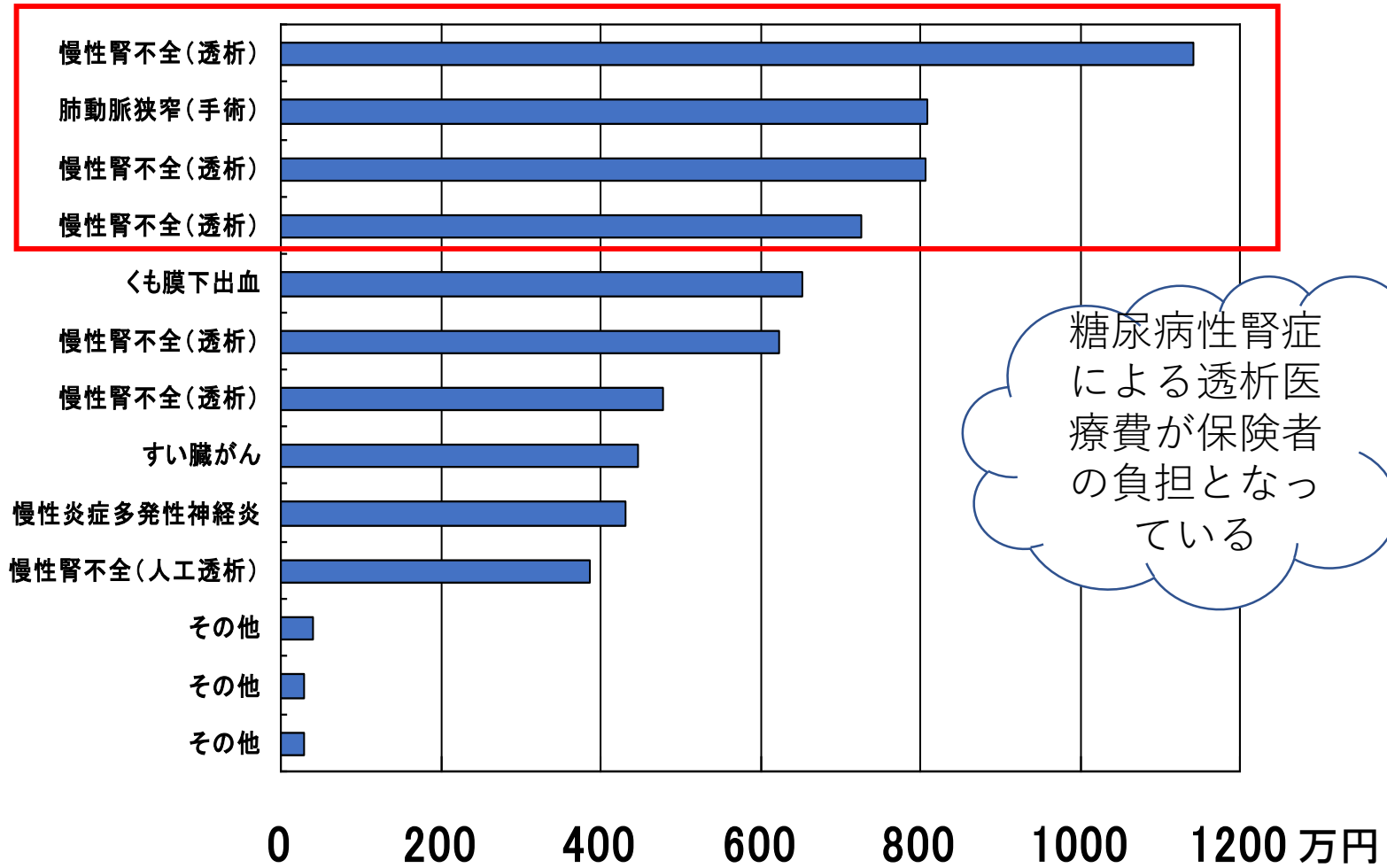
通常の人工腎臓では管理困難な兆候を有するものについて、6時間以上の人工腎臓を行った場合に算定する。

ポイント③ 糖尿病重症化予防と 保険者との協同



pixta.jp - 17079978

ある健保組合のレセプト分析より



1. 趣旨

- 呉市等の先行的取組を全国に広げていくためには、**各自治体と医療関係者が協働・連携できる体制の整備**が必要。
- そのためには、埼玉県取組例のように、**都道府県レベルで、県庁等が県医師会等の医療関係団体と協力して重症化予防プログラムを作成し、**県内の市町村に広げる取組を進めることが効果的。
- そのような取組を国レベルでも支援する観点から、**日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省の三者で、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定**したもの（それに先立ち本年3月24日に連携協定締結）。

2. 基本的考え方

(目的)

- **重症化リスクの高い医療機関未受診者等に対する受診勧奨・保健指導**を行い治療につなげるとともに、**通院患者のうち重症化リスクの高い者に対して主治医の判断で対象者を選定して保健指導を行い、人工透析等への移行を防止**する。

(性格)

- 先行する取組の全国展開を目指し、取組の考え方や取組例を示すもの。各地域における取組内容については**地域の実情に応じ柔軟に対応が可能**であり、現在既に行われている取組を尊重。

(留意点)

- **後期高齢者**については**年齢層を考慮した対象者選定基準**を設定することが必要。

3. 関係者の役割

※例示であり地域の実情に応じた取組を尊重

(市町村)

- 地域における**課題の分析**（被保険者の疾病構造や健康問題などを分析）
- **対策の立案**（取り組みの優先順位等を考慮して立案、地域の医師会等の関係団体と協議）
- 対策の**実施**、実施状況の**評価**

(都道府県)

- **市町村の事業実施状況のフォロー**、都道府県レベルで**医師会や糖尿病対策推進会議等と取組状況の共有、対応策等について議論、連携協定の締結、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定**

重症化予防

石川県能美市糖尿病予防



川本素子氏...石川県能美市健康推進課長

- HbA1cが6.5以上の人を糖尿病用管理台帳に登録し、同患者を優先して保健指導をしている。2008年、HbA1cのワースト30人を訪問し、実地調査を行った。
- その結果、数値が予想以上に悪く、「放置してはいけない」と医師会と連携した活動をするようになった。
- 重症化予防事業として、治療中の養育院にも市の保健師が訪問し、栄養指導をできる仕組みを整えた。
- この結果、8年間の活動でHbA1cの数値に問題のある人の割合が減った。
- 市の保健活動に医師会も理解してくれていて、個別症例ごとに相談をしあえる仲になったという。

石川県能美市の糖尿病予防事例

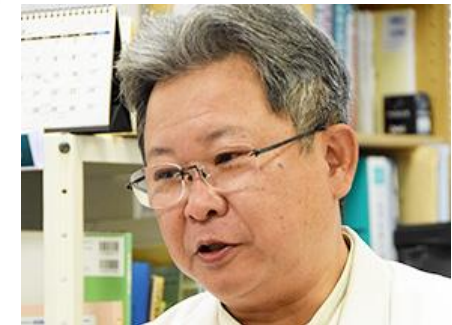
HbA1cワースト30への訪問 ～H20年度結果から治療中者にも訪問～

血糖・高血圧・
LDL・HDL・
中性脂肪・eGFRの
ワースト30にも訪問



能美市健康福祉部健康推進課の
川本素子担当課長

性別	年齢	HbA1c	空腹時血糖	最高血圧	最低血圧	中性脂肪	LDL	尿酸	腎臓値 eGFR	メタボリックシンドローム	尿蛋白	尿糖	尿潜血	治療中	脂質化 結果	支援 状況	受診 状況	治療状況
1	女	58	13.1	282	149	72	107	25.2	3.5	87.8	なし	-	+	-	情報提供	受診勧奨	未受診	未受診 漢方薬講
2	女	72	11.4	361	120	80	358	11.4	3.8	67.6	なし	+	+	±	情報提供	受診勧奨	治療開始	糖尿病、高脂血症、高血圧
3	女	71	11.2	297	158	87	89	14.1	3.1	67.8	なし	-	+	+	情報提供	治療中		
4	女	63	11.2	280	127	68	233	13.0	4.1	96.8	あり	+	+	±	糖尿病 高血圧症	情報提供	治療中	
5	男	72	10.4	150	68	53	10.3	4.2	89.5	あり	+	+	-	糖尿病	情報提供	治療中		
6	女	72	10.3	281	129	80	131	19.0	4.4	101.5	なし	-	+	-	勧奨づけ支援	不参加		
7	男	73	10.3	159	144	80	205	87	4.6	61.9	あり	-	+	-	勧奨づけ支援	不参加		
8	女	38	10.2	188	112	59	152.5	6.3	3.8	69.4	なし	-	-	-	情報提供	情報提供		
9	女	69	10.2	140	72	504	68	7.1	74.9	あり	±	-	±	糖尿病 高脂血症	情報提供	治療中		1
10	男	63	9.7	237	158	94	144	14.4	2.8	65.7	あり	-	-	-	積極的 支援	積極的 支援		



能美市医師会の松田健志会長

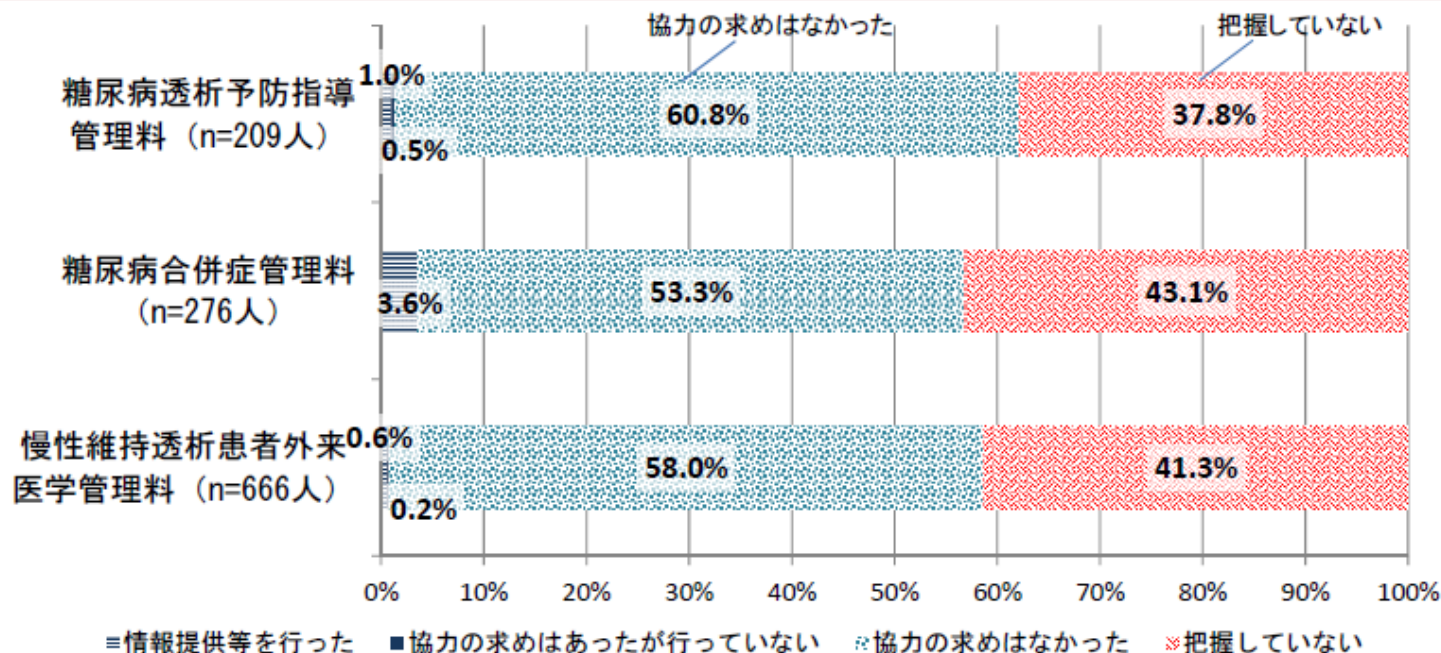
HbA1cワースト30人のリストは、関係者が危機感を共有し、医療と連携するきっかけとなった

保険者からの協力要請による診療情報の提供等の実施

中医協 総 - 4
29.3.29

- 糖尿病に関する主な管理料を算定している患者について、保険者からの協力要請による診療情報の提供等の実施状況を見ると、保険者からの協力要請による診療情報の提供について「協力の求めはなかった」と回答した割合が最も多く、「情報提供等を行った」と回答した割合は極めて少ない。

保健指導を行う目的で保険者からの協力要請による診療情報の提供等の実施状況 (平成28年1月～12月)



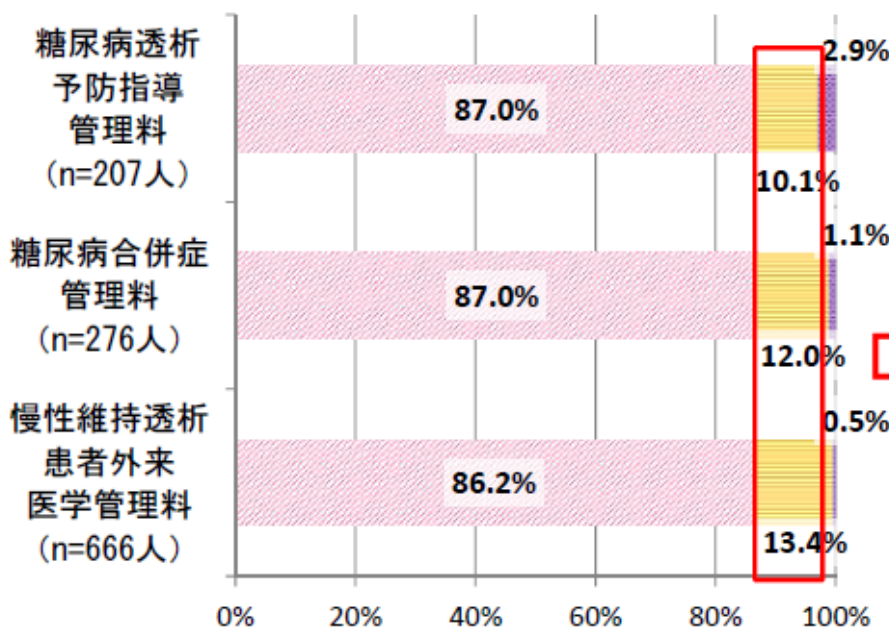
【回答医療機関】 7対1一般病棟入院基本料又は10対1一般病棟入院基本料を届け出ている126医療機関
 【対象患者】 生活習慣病を有し、平成28年12月に再来で来院し、糖尿病透析予防指導管理料、糖尿病合併症管理料、慢性維持透析患者外来医学管理料を算定している患者

特定健診・特定保健指導を受けているかどうかの把握

中医協 総 - 4
29.3.29

○ 糖尿病に関する主な管理料を算定している患者について、患者が特定健診・特定保健指導を受けているかどうか、「把握していない」と回答した割合が最も多く、受けていないことを把握した場合、受けるよう勧奨しているかの有無では、慢性維持透析患者外来医学管理料と糖尿病透析予防指導管理料を算定している患者では、「行っていない」と回答した割合が比較的多い。

■ 患者が特定健診・特定保健指導を受けているかどうかの把握の有無(平成28年1月~12月)

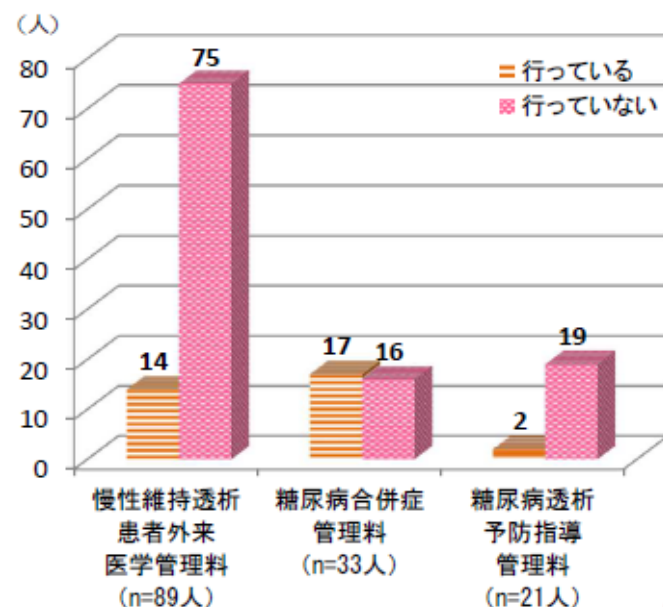


〃 把握していない

■ 受けていないことを把握している

■ 受けていることを把握している

■ 「受けていないことを把握している」場合(31医療機関) 勧奨の有無



【回答医療機関】 7対1一般病棟入院基本料又は10対1一般病棟入院基本料を届け出ている126医療機関

【対象患者】 生活習慣病を有し、平成28年12月に再来で来院し、糖尿病透析予防指導管理料、糖尿病合併症管理料、慢性維持透析患者外来医学管理料を算定している患者

生活習慣病重症化予防推進に係る要件の見直し

- ▶ 生活習慣病の重症化予防を推進する観点から、算定要件に以下の項目を追加する。

(1) **生活習慣病管理料の療養計画書の記載項目(様式)**に、血圧の目標値及び特定健康診査・特定保健指導を実施する保険者からの依頼に応じて情報提供を行うこと等の記載欄を追加するとともに、同意が得られている場合に必要な協力を行うこと。

保険者との
連携項目

[追加する記載欄のイメージ]

<input type="checkbox"/> 収縮期/拡張期血圧:現在(/ mmHg) →目標(/ mmHg)	【特定健康診査の受診の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	【特定保健指導の利用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	【保険者からの情報提供の求め に対する協力の同意】	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

パート4

地域連携クリティカルパス と糖尿病診療

診療報酬への応用

地域医療計画・生活習慣病対策への応用

医療計画制度について

趣旨

- 各都道府県が、厚生労働大臣が定める基本方針に即して、かつ、地域の実情に応じて、当該都道府県における医療提供体制の確保を図るために策定。
- 医療提供の量(病床数)を管理するとともに、質(医療連携・医療安全)を評価。
- 医療機能の分化・連携(「医療連携」)を推進することにより、急性期から回復期、在宅療養に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療が提供される「地域完結型医療」を推進。
- 地域の実情に応じた数値目標を設定し、PDCAの政策循環を実施。

記載事項

- 四疾病五事業(※)に係る目標、医療連携体制及び住民への情報提供推進策
- 居宅等における医療の確保 ○ 医師、看護師等の医療従事者の確保 ○ 医療の安全の確保
- 二次医療圏、三次医療圏の設定 ○ 基準病床数の算定 等

※ 四疾病五事業…四つの疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)と五つの事業(救急医療、災害時における医療、へき地の医療、回復期医療、小児医療(小児救急医療を含む))をいう。

【 基準病床数制度 】

- ◇ 二次医療圏等ごとの病床数の整備目標であるとともに、それを超えて病床数が増加することを抑制するための基準となる病床数(基準病床数)を算定。
- ◇ 基準病床数制度により、病床の整備を病床過剰地域から非過剰地域へ誘導し、病院・病床の地域偏在を是正。

【 医療連携体制の構築・明示 】

- ◇ 四疾病五事業ごとに、必要な医療機能(目標、医療機関に求められる事項等)と各医療機能を担う医療機関の名称を医療計画に記載し、地域の医療連携体制を構築。
- ◇ 地域の医療連携体制を分かりやすく示すことにより、住民や患者が地域の医療機能を理解。

地域医療計画と5疾患5事業

- 5 疾病

- ①がん
- ②脳卒中
- ③急性心筋梗塞
- ④糖尿病
- ⑤精神疾患

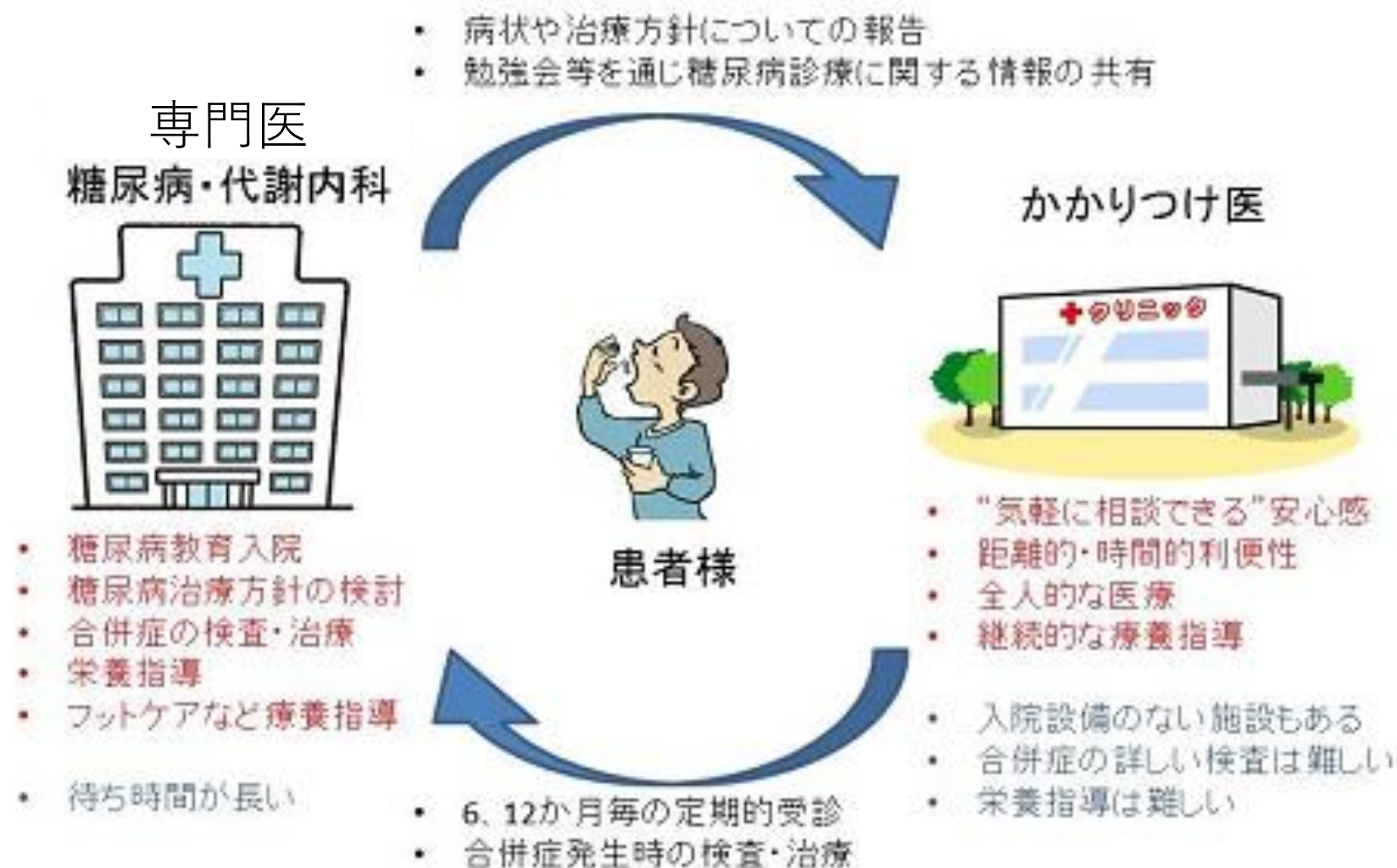
- 5事業

- ①救急医療
- ②災害医療
- ③へき地医療
- ④周産期医療
- ⑤小児医療
- *在宅医療

第5次医療計画作成指針 (07年7月通知)

- 医療計画における医療連携の考え方
 - 各医療機能を担う関係者が、相互の信頼を醸成し、円滑な連携が推進されるよう実施する。
 - 関係者すべてが認識・情報を共有した上で、各医療機能を担う医療機関を決定する
 - 医療連携の必要性について認識の共有
 - 医療機関等に係る人員、施設設備及び診療機能に関する情報の共有
 - 当該疾病及び事業に関する最新の知識・診療技術に関する情報の共有
- 状況に応じて、**地域連携クリティカルパス**導入に関する検討を行う

糖尿病医療連携(2人主治医体制)について



糖尿病連携手帳

検査結果記載欄(糖尿病連携手帳)

検査結果

1日の食事 指示内容	総エネルギー量： kcal/日	炭水化物： g	蛋白質量： g/kg標準体重	食塩相当量： g未満
検査日	/	/	/	/
施設 (P.9の記号を記入する)				
体重(kg)				
血圧(mmHg)	/	/	/	/
血糖値	空腹時			
	食後	(h)	(h)	(h)
HbA1c(NGSP)*				
HbA1c(JDS)				
総LDLコレステロール	/	/	/	/
HDLコレステロール				
中性脂肪/アミラーゼ	/	/	/	/
AST/ALT/乳酸	/	/	/	/
BUN/クレアチニン	/	/	/	/
eGFR				
尿アルブミン指数	mg/gCr	mg/gCr	mg/gCr	mg/gCr
尿蛋白	定量	g/gCr	g/gCr	g/gCr
	定性	--・±・1+・2+・3+	--・±・1+・2+・3+	--・±・1+・2+・3+
腎症 of 病期	なし・2・3A・3B	なし・2・3A・3B	なし・2・3A・3B	なし・2・3A・3B
	4・透・その他	4・透・その他	4・透・その他	4・透・その他

- 太線内は必須項目です。
- HbA1c(NGSP)*は、HbA1c(JDS)に0.4%を加えた値に相当する。

検査結果

検査項目	検査日	施設	結果	眼底検査	検査日	施設	
神経障害	/			右眼	網膜症：	なし・単純増殖前・増殖	
頭部CT・MRI	/				黄斑浮腫：	有・無	
頸動脈エコー	/		狭窄		%	所見の悪化：	有・無
			肥厚		mm	光凝固：	未・済
			プラーク	ありなし	矯正視力、他：		
baPWV/ABI	/			左眼	網膜症：	なし・単純増殖前・増殖	
心電図・エコー (安静・負荷)	/				黄斑浮腫：	有・無	
栄養指導	/				所見の悪化：	有・無	
足チェック	/				光凝固：	未・済	
胸部レントゲン	/			矯正視力、他：			
腹部エコー	/			次回受診	ヶ月後		
便潜血	/			歯周療	検査日	/	
胃カメラ・透視	/				なし・軽症・中等症・重症	施設	
腹囲	/		cm		次回受診	ヶ月後	
治療内容・ 療養指導の ポイント							

- 合併症に関する検査の時期は、合併症の状態により変わります。

慢性腎臓病地域連携パスの例 (Chronic Kidney Disease:CKD)

- 定義

- ①尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らかである（特にたんぱく尿の存在が重要）
- ②腎機能低下（GFR < 60ml/min/1.73平方m）
- ①、②のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続する

- CKDの連携パスに期待が高まっている

- 病院の専門医と診療所の医師を結ぶ共通治療プロトコール

腎臓内科地域連携クリニカルパス患者基本情報

患者氏名: ダミー予約 地域1 性別: 男 生年月日: 1975年01月01日
北野病院ID: 90100000

患者基本情報記入日 2009年03月04日

CKDステージ 1 2 3 4 5

【原疾患】

- | | |
|---|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 慢性糸球体腎炎() | <input type="checkbox"/> 腎硬化症 |
| <input type="checkbox"/> ネフローゼ症候群() | <input type="checkbox"/> 多発性のう胞腎 |
| <input type="checkbox"/> 糖尿病(<input type="checkbox"/> I型 <input type="checkbox"/> II型 <input type="checkbox"/> その他) | <input type="checkbox"/> その他 () |

【合併症】

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 高血圧 | <input type="checkbox"/> 閉塞性動脈硬化症 | <input type="checkbox"/> 糖尿病網膜症 | <input type="checkbox"/> 神経障害 |
| <input type="checkbox"/> 脂質異常症 | <input type="checkbox"/> 足病変 | <input type="checkbox"/> 単純型 | <input type="checkbox"/> 末梢神経障害 |
| <input type="checkbox"/> 冠動脈疾患 | <input type="checkbox"/> 頸動脈硬化症 | <input type="checkbox"/> 前増殖型 | <input type="checkbox"/> 自律神経障害 |
| <input type="checkbox"/> 脳血管障害 | <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> 増殖型 | |

【その他】

- 食事指導内容(糖尿病食・蛋白塩分制限食)
- | | | | |
|------|----|--------|---|
| カロリー | | 水分制限 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 塩分 | g | カリウム制限 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 蛋白 | g | 療法選択説明 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 身長 | cm | 運動制限 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 体重 | kg | | |
| BMI | | | |
- 喫煙あり(本/日) 喫煙なし
- 飲酒あり(ビール 本/日) 飲酒なし
- 薬アレルギー

○疾患の受け止め方○

- 大変理解よい 理解よい 普通

***** パスシートII (a・b・c)へ *****

基本情報シートにはCKDのステージ分類、原疾患、合併症や食事指導内容を記載





これからは二人の主治医で診察します



北野病院では、患者さんに『かかりつけ医』を持っていただき、2人の主治医で診察をしています。病状が安定している時は『かかりつけ医』に診察してもらい、検査や緊急時には北野病院に来て診察を受けていただきます。

患者さんの状態は、『地域連携クリニカルパス』という用紙を使って、かかりつけ医と共有しておりますので、安心して受診していただけます。

受診スケジュール 北野病院 腎臓内科 ⇄ かかりつけ医 ()

状態の悪化がなければ半年に1回北野病院受診

北野病院受診	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1年	以降
かかりつけ医を紹介します。	かかりつけ医		かかりつけ医		北野		かかりつけ医					北野	半年ごとに北野病院
血液検査	1～3ヶ月毎(適宜)												
尿検査	毎月												
血圧測定	毎日同じ時間に血圧をお家で測りましょう												
体重測定	毎日体重をお家で測りましょう												
胸部レントゲン	年に1回胸部レントゲンと心電図を行います。 (必要時は随時行います)												
心電図													
眼科受診	糖尿病のある方は、合併症の早期発見のため、定期的に眼科受診を行いましょう												
その他	<input type="checkbox"/> ABI <input type="checkbox"/> 心エコー <input type="checkbox"/> 経動脈エコー <input type="checkbox"/> 負荷心電図 <input type="checkbox"/> 頭部MRI <input type="checkbox"/> 糖尿病教室に参加しましよう <input type="checkbox"/> 栄養指導を受けましよう												

【看護師指導内容】

こんな時はかかりつけ医に相談すること

- ◆ 足に異変が…長距離歩けなくなった
- ◆ 貧血のような症状がある
- ◆ 血糖コントロールが悪い
- ◆ 最近むくみがひどい…
- ◆ 身体がだるい
- ◆ 体重が急激に増えた
- ◆ 風邪の後(特に注意して下さい)
- ◆ 食欲がない時(水分が取れていないとき)

指導看護師:

病診連携での診療方針を患者さんに説明する用紙。病診での受診スケジュールのほか、血圧・体重測定を毎日行うように記載。「貧血のような症状」「最近むくみがひどい」等、かかりつけ医に相談すべきことも列記して、患者さんの自己管理チェックシートの役割もはたす。

腎炎・ネフローゼ症候群(CKD1・2期) 地域連携クリニカルパス

作成日: 2009年03月04日

ダミーチキ1
 患者氏名: ダミー予約 地域1 性別: 男 生年月日: 1975年01月01日
 北野病院ID: 901.00000

アウトカム(達成目標)
 I CKDステージ進展防止
 II CKD合併症の予防・早期発見・早期治療

北野病院		⇔		かかりつけ医(以下の内容の継続診療をお願いします)	
診察日 2009年03月04日		1ヶ月に1回受診 ⇒状態悪化なければ半年に1回北野病院受診			
治療	<input type="checkbox"/> 抗血小板剤 <input type="checkbox"/> ACE阻害剤 <input type="checkbox"/> ARB <input type="checkbox"/> ステロイド <input type="checkbox"/> 当院処方なし <input type="checkbox"/> その他	かかりつけ医処方 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり (内容は以下に)	<input checked="" type="checkbox"/> 尿潜血 <input checked="" type="checkbox"/> 尿蛋白 <input checked="" type="checkbox"/> 尿蛋白定量 <input checked="" type="checkbox"/> クレアチニン	<input checked="" type="checkbox"/> 推算GFR <input checked="" type="checkbox"/> 採血(3ヶ月に1回) <input checked="" type="checkbox"/> 浮腫の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 合併症出現の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 体重 <input checked="" type="checkbox"/> 血圧
	検査結果(別紙添付)	<input type="checkbox"/> 腹部エコー	バリエンス(紹介の指標) ①浮腫による体重増加(0.5kg/日以上) (食べ過ぎ・運動不足による体重増加は別です) ②コントロールできない高血圧 ③腎機能悪化(クレアチン1.5倍悪化) ④新たな尿潜血出現 ⑤尿潜血悪化(2倍以上) ⑥持続する肉眼的血尿 ⑦尿蛋白の増加(2倍以上)		
全身状態	<input type="checkbox"/> 浮腫の有無 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	バリエンス発生時は、北野病院受診予約を取ってください。 次回北野病院受診日: _____		
	<input type="checkbox"/> 合併症の有無	<input type="checkbox"/> 肥満 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 高脂血症 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> その他			

アウトカム(目標達成)、病診連携による目的、治療の方向性、病院、かかりつけ医双方の役割等の認識をひとつにするため明記

バリエンス(合併症)発生時の対応

コメント 《 診察のポイント! 》
 風邪の後、脱水になっていることが多く、一気に腎機能が悪くなる可能性があります。

糖尿病の連携パスで
重症化予防を図ろう！



診療報酬における社会保障改革の実現に向けたスケジュール(粗いイメージ)

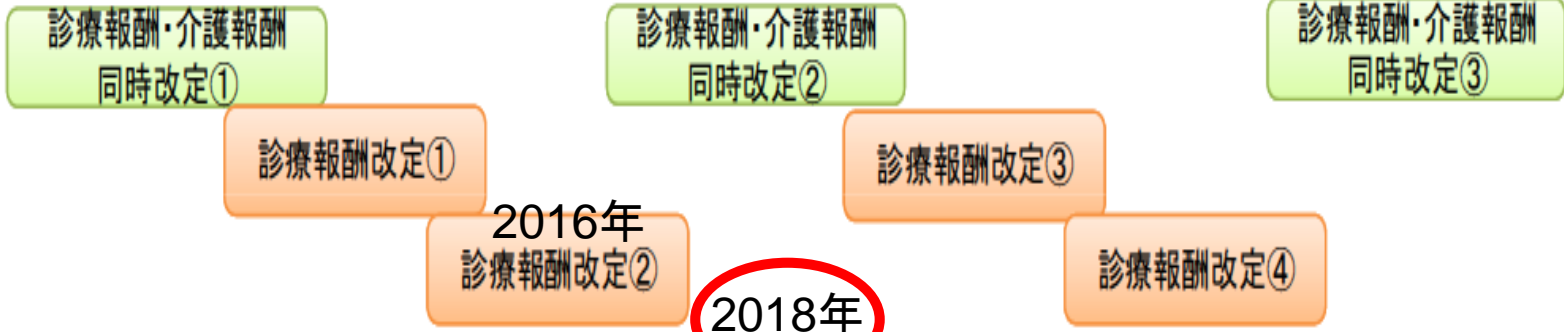
2012年 2014年 2016年 2018年 2020年 2022年 2024年 2025年



方向性

- ① 医療機関の機能の明確化と連携の強化
- ② 医療機関と在宅/介護施設との連携強化
- ③ 医療提供が困難な地域に配慮した医療提供体制の構築

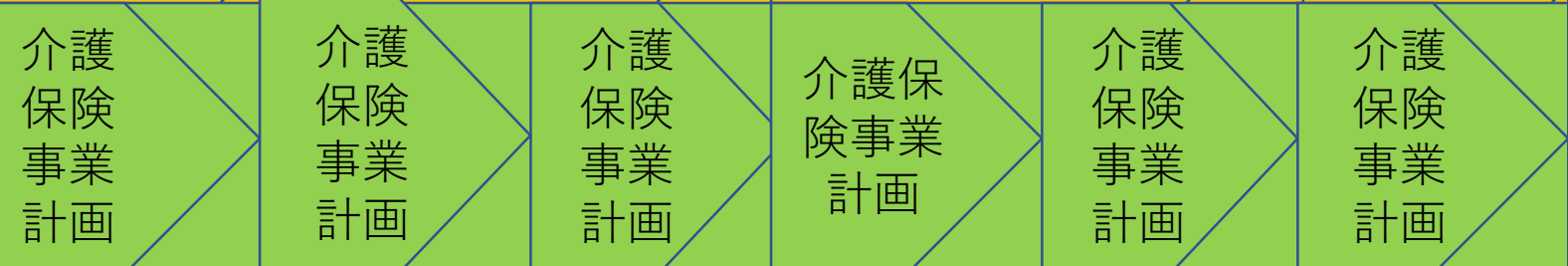
報酬改定



医療計画



介護保険事業計画



医療介護のあるべき姿

今日のまとめ

- 糖尿病にはかかりつけ医と専門医の連携が重要
- 糖尿病診療も目標管理で！
- 糖尿病の重症化予防は保険者も加えたチーム医療で
- 地域連携パスで糖尿病の重症化予防を！

医療と介護のクロスロード to 2025

- **2月20日緊急出版！**
- 2018年同時改定の「十字路」から2025年へと続く「道」を示す！
- 医学通信社から
2018年2月出版予定
本体価格 1,500円 + 税



ご清聴ありがとうございました



フェイス
ブックで
「お友達募
集」をして
います

国際医療福祉大学クリニック <http://www.iuhw.ac.jp/clinic/>
で月・木外来をしております。患者さんをご紹介ください

本日の講演資料は武藤正樹のウェブサイトに公開し
ております。ご覧ください。

武藤正樹

検索



クリック

ご質問お問い合わせは以下のメールアドレスで
mutoma@iuhw.ac.jp